

校長室より

令和5年5月29日(月)

「修学旅行」



新型コロナが5月8日から「5類」に移行し、旅行や外出の規制が緩和される中、今年度は坂井中学校の修学旅行の行き先を関東方面へと復活しました。首都圏の名所を見て、福井にはないものを感じたり、友達どうしの交流を深めたりと、楽しみにしている人も多いと思います。

私は今までに数多くの修学旅行を引率しましたが、子どもたちの本当にうれしそうな顔を見るたびに、来てよかったなと思ったものです。そして、たくさんのエピソードもありました。その中のいくつかを紹介しますね。

①子どもたちにとって初めてのホテル宿泊。就寝前の健康観察で、私「みんな、元気か？おや、全員首筋が赤く腫れてるけど…。」生徒「さすが高級ホテルのタオルは分厚いです。あれで顔を拭いたら赤くなりました。」私「まさか…。ひょっとして、それはタオルではなくて、足ふきマットじゃないのか？」生徒「えーっ!？」

②旅行から戻ってきたとき、ある生徒のお母さんが私のもとにやってきました。母「先生、ありがとうございます。」私「〇〇くん、とても楽しそうでしたよ。よかったですね。」母「ウチは裕福でないので、家族旅行なんて行ったことがありません。うちの子は、本当に修学旅行を楽しみにしていたんです。」私「それはよかったですね。」母「うちの子は自分のものもお土産も買わないと言っていたんですが、バスから降りてくるとき、ディズニーの大きな袋を2つも持っている姿を見たら涙が出ました。」

私自身もいまだに自分が行った修学旅行の楽しい思い出は色あせていませんし、親の立場、教員の立場となって、修学旅行はすべての子どもたちに楽しい経験を平等に与えているという大切な側面も担っていると思います。

明日(5月30日)、坂井中学校修学旅行団は東京に向けて行って参ります。